

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report

2021

4

APRIL

らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 愛臨技法人設立35周年記念式典開催にあたり…………… 1
- ホームページリニューアルのお知らせとお願い…………… 2
- 地区だより(尾張北)…………… 3
- 国際交流事業費等助成金のお知らせ…………… 4
- 研究会…………… 5
- AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信(第73回)…………… 6
- 著作物紹介…………… 6

2021年3月8日現在 正会員数 3,486名

愛臨技法人設立35周年記念式典開催にあたり

公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
会 長 中根 生弥

新年度を迎えるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当会は現在、3,500名近い会員を有する職能団体として、数多くの公益事業を遂行しております。また、昨年度はコロナ禍ではありましたが愛臨技創立70周年を迎えると同時に、愛知県医学検査学会も20回の節目を迎え、記念学会として開催することができました。これも偏に、会員の皆様が当会の事業にご理解とご協力いただき、県民の健康増進と公衆衛生の向上に尽力いただけた賜物と心より感謝申し上げます。

当会は、昭和25年4月23日(1950年)に、愛知県臨床検査技師会の前身である名古屋医学実験技術会として誕生しました(日本臨床衛生検査技師会は昭和27年に設立)。昭和62年4月には会員数1,800余名にて社団法人の認可を受け、県民の健康増進と公衆衛生の向上を目的に職能団体として活動してまいりました。その後、平成20年12月1日に施行された「公益法人制度改革関連3法」に伴い、当会は公益社団法人の取得を目指すことが決定されました。数年にわたる準備期間を経て、平成25年4月1日付けで公益法人資格を取得し、団体名を改め「公益社団法人 愛知県臨床検査技師会」として移行し、2022年には愛臨技法人設立35周年を迎えることとなります。これを受け、本年度には「愛臨技法人設立35周年記念事業」として、記念式典および特別講演会を予定しております。

本年度も職能団体として学術活動を通じ、臨床検査の精度向上と最新医療の知識や技術を習得し、広く県民の皆様に臨床検査並びに臨床検査技師を知っていただく活動も行いながら、当会の目的が達成できるように努めてまいります。2021年度も会員の皆様のご理解とご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

愛臨技の沿革

- 1950年(昭和25年) 「名古屋医学実験技術会」として発足
- 1952年(昭和27年) 「日本衛生検査技術者会」創立大会が名古屋市で開催
- 1962年(昭和37年) 愛知県衛生検査技師会創設
- 1987年(昭和62年) 「社団法人愛知県臨床衛生検査技師会」として法人格取得
- 2013年(平成25年) 「公益社団法人愛知県臨床検査技師会」として移行
- 2020年(令和2年) 愛臨技創立70周年
- 2022年(令和4年) 愛臨技法人設立35周年



ホームページリニューアルのお知らせとお願い

令和3年4月より愛知県臨床検査技師会のホームページを大きくリニューアルしました。

リニューアルに伴い、当会会員専用ページを作成し、会員の皆様に登録させていただきました。

つきましては、下記手順にてログインしていただき、登録情報の確認、パスワードの変更をよろしくお願いいたします。(ユーザー名は日臨技会員番号、初期パスワードは生年月日です)。

【確認・変更手順】



①画面右上の「ログイン」をクリック



②ログイン後、画面右上に姓名が表示されます



③「姓名」をクリックし、「プロフィールを編集」



④「登録情報の編集」より登録情報を確認



⑤「プロフィールを更新」をクリックしてください

⑥「パスワード変更」よりパスワードを変更

⑦「パスワードを更新」をクリックしてください

登録情報につきましては、3月1日現在の日臨技会員情報をもとに登録させていただいております。変更がある際は、各自にて修正のほどよろしくお願いいたします。今後、会員に有益な情報、必要な情報などをこの登録アドレスを利用してお知らせします。

なお、当会会員ページと日臨技会員ページは、全く別のシステムにて運用しております。変更がございましたら、お手数ですが両情報の変更をお願いいたします。

4月より新規入会の方は、事務局にて確認、入会承認後にログインが可能となります。

ログインが可能となりましたら、日臨技会員情報にご登録いただいたメールアドレスへご連絡させていただきます。

また、6月に開催します、「公益社団法人愛知県臨床検査技師会 令和3年度定時総会」では会員の皆様の議決権行使を初めて電子議決にて運用させていただきます。議決いただく際、会員ページへのログインが必要となりますので、ご承知おきください。

ログインできない際は、「日臨技会員番号」・「氏名」・「施設名」・「ご連絡先」を明記の上、当会事務局(aamt@aichi-amt.or.jp)までメールにてお問い合わせください。

お詫び

去る3月12日に『Wordpress』よりパスワードが変更された旨のメールが会員の皆様宛に送信され、驚かれたことと思います。これは4月よりリニューアルしました本会ホームページへの会員登録作業中に委託会社より誤って送信されたものであり、大変申し訳ありませんでした。会員情報が外部に流出したり操作されたものではありませんが、会員の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしたと、深くお詫び申し上げます。

今後はこのようなことが無いよう、役員、担当者一同、気を引き締めて会務を遂行してまいります。何卒ご容赦いただけますようお願い申し上げます。



聖霊病院開設時



聖霊病院



聖霊病院（昭和30年）

今回は、尾張北地区より社会福祉法人聖霊会聖霊病院がお伝えします。

所在地は、名古屋市昭和区で地下鉄鶴舞線いりなか駅、徒歩2分です。カトリック系キリスト教の病院となります。金沢にある金沢聖霊総合病院は、同じくカトリック系の病院で、関連病院となります。関連施設として、老人保健施設サンタマリア、聖霊居宅介護支援事業所、ロザリオ保育所があります。現在は閉校してしまいましたが、看護学校も併設していました。よく浜松にある、聖隷病院と間違われますが、聖隷浜松病院とは関係はありません。聖霊の霊の字が異なります。間違えないように注意して下さい。

当院は、1945年（昭和20年）に聖霊診療所として開設し、地域の方々にカトリックの精神をもって医療を提供しています。現在は、198床（急性期、地域包括病棟、NICU、緩和ケア病棟）の病床にて診療を行っています。臨床検査技術科では、検体検査、生理検査（心電図、肺活量、脳波、超音波検査、CAVIなど）、輸

血検査、病理検査、細菌検査（血液培養と一部の塗抹検査）を行っています。生理検査では、聴力検査、産婦人科にて妊婦さんのエコー検査、4D検査も行っています。その他に、病棟早期採血、チーム医療にも積極的に参加しています。

趣のあるところの紹介です。病院の近隣に八事山興正寺があります。桜をはじめ四季折々の心癒される景色を見る事が出来ます。心が疲れている時には、一度訪れてみてはいかがでしょうか。桜つながりで、近くに桜の名所の山崎川もあります。桜、川面に映る桜、共に美しいと思います。心癒されてはいかがでしょうか。また、コロナ禍で大変な状況にあると思いますが、ストレスを溜めないように心と身体を鍛えましょう。筆者は、3密を避けながらボルダリングを楽しんでいます。



趣味のボルダリング

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 国際交流事業費等助成金のお知らせ

公益社団法人愛知県臨床検査技師会

会 長 中根 生弥

本会では、幅広い人材を育成する目的で臨床検査(医療)に関する海外活動への参加に対して、助成金を交付する事業を令和2年度より展開しています。下記の要項にて、本会会員3名を募集し活動を支援させていただきますので、海外で活動に興味のある方は奮ってご応募ください。未経験者を歓迎し、学術部門で英語抄録・スライド作成等のサポートもさせていただきます。

なお、助成を受けた会員には、所定の報告書を提出していただき、本会主催の学会・研修会、もしくは相応の学術集会にて活動報告発表および、らぼニュースへの記事掲載等もお願いさせていただきますことをご承知おきください。

記

1. 募集人数：3名(多数の場合は本会理事会にて規程に則って選出します。)
 2. 応募資格：50歳未満の本会会員であること。
 3. 対象期間：令和3年4月から令和4年3月開催の海外学会を対象。(Web 開催も可能)
 4. 助成金額：助成対象者1名につき5万円を支給。
 5. 申込事項：当会ホームページより「国際交流事業費等助成金交付申請」をダウンロードして、所定事項を記入し送付して下さい。
 6. 申込締切：令和3年4月1日から7月31日(必着)
 7. 申込先：(公社)愛知県臨床検査技師会事務所
 8. 問合せ先：学術部長 内田一豊
豊橋市民病院 中央臨床検査室 電話：0532-33-6111
 9. 当否報告：8月頃、本人宛に通知致します。
- ※「公益社団法人愛知県臨床検査技師会 国際交流事業費等助成交付規程」をご確認ください。

以上

輸血検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)
 閲覧期間：令和3年5月8日(土)～21日(金)
 参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
 令和3年4月8日(木)～5月1日(土)
 ※視聴方法は後日メールにて配信

参加費用：なし
 レポート：令和3年6月3日(木)締切
 配信方法：オンデマンド配信
 テーマ：「症例やインシデント事例から学ぶ
 輸血検査・輸血療法」

- 講師：
- 血液型検査編
 JA 愛知厚生連 渥美病院 小久保元孝
 - 不規則抗体／交差適合試験編
 JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 松井 貴弘
 - 緊急対応編
 小牧市民病院 水野 友靖
 - 失敗は成功のもと！しくじりから学ぶ輸血検査
 豊橋市民病院 中村 藍

司会：JA 愛知厚生連 安城更生病院 山本 喜之
 内容：日当直で一步間違えればアクシデントとなりかねない輸血業務に不安を感じる方は多いかと思えます。今回は症例をもとに、遭遇することが多い異常反応や緊急輸血対応について、各編に分け、わかりやすく説明します。また、輸血に関するインシデント事例をもとに、安心安全な輸血のために何ができるか皆さんも一緒に考えてみませんか？
 多くの方のご視聴をお待ちしております。
 ご視聴の際は是非、2020年10月 AiCCLS 発行「輸血検査における標準手順書」第3版をご参照ください。

病理細胞検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)
 閲覧期間：令和3年5月15日(土)～28日(金)
 参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
 令和3年4月14日(水)～5月7日(金)
 ※視聴方法は後日メールにて配信

- 参加費用：なし
 レポート：令和3年6月10日(木)締切
 配信方法：オンデマンド配信
 テーマ：病理検査の精度管理
- 講師：
- 「アミロイド染色の基礎」
 豊川市民病院 山川 貴章
 - 「アミロイド染色の検討」
 豊橋市民病院 宮野 拓也
 - 「プロセッシングの基礎」
 サクラファインテックジャパン(株) 篠田 宏

司会：公立陶生病院 柚木 浩良
 内容：前半は、アミロイド染色について、概論から検討までをお話しします。後半は、プロセッシングの基礎と題し、固定～パラフィン浸透、プログラム作成について講演していただきます。自施設の精度管理の参考になると思っています。多くの方の視聴をお待ちしております。

生理検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)
 日時：令和3年5月15日(土)15:00～17:00
 参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
 令和3年4月15日(木)～5月8日(土)
 ※視聴方法は後日メールにて配信

参加費用：なし
 レポート：令和3年5月28日(金)締切
 配信方法：ライブ配信(定員100名)
 テーマ：生理検査への入り口
 ～これから生理検査をはじめの人へ～

- 講師：
- 希望と違う配属 生理検査に従事して思うこと
 厚生連 渥美病院 三世 拓也
 - 上達に近道なし！
 私の経験から考える生理検査の学び方
 藤田医科大学ばんだね病院 中村 和広
 - 再考、認定技師
 三重大学医学部附属病院 久富 一毅

司会：JA 愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝
 内容：5月になると、新入職員の方、部署異動の方など新たに生理検査を始めた方がちょっとしたつまづきを感じはじめる時期ではないでしょうか。今回は、「気持ち」「学び」「目標」の面で生理検査を考える ZOOM を利用したパネルディスカッションを企画しました。生理検査をはじめたばかりの方、また新入職員を抱えた先輩技師の方、一緒に生理検査について考え、向き合ってみましょう。生理検査に抵抗がある方も好きになるかもしれませんよ。

血液検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)
 閲覧期間：令和3年5月22日(土)～6月4日(金)
 参加方法：日臨技 HP から事前参加登録
 令和3年4月22日(木)～5月15日(土)
 ※視聴方法は後日メールにて配信

- 参加費用：なし
 レポート：令和3年6月17日(木)締切
 配信方法：オンデマンド配信
 テーマ：急性骨髄性白血病の基礎
- 講師：
- 「FAB分類とWHO分類の違い、FAB分類M3の基礎」
 国立医療機構 名古屋医療センター 後藤 勇也
 - 「FAB 分類 M1、M2、M4、M5の基礎」
 名古屋第二赤十字病院 白木 涼
 - 「FAB 分類 M0、M6、M7の基礎」
 愛知医科大学病院 鈴木 崇峰

内容：はじめに急性骨髄性白血病の FAB 分類と WHO 分類の違いについて解説し、各講演は FAB 分類において細胞形態が似ている症例毎に特徴的な形態、特殊染色、FCM、遺伝子検査などの鑑別ポイントや正常骨髄との違いを分かりやすく解説します。
 多くの方の視聴をお待ちしております。

愛知県臨床検査標準化協議会 (Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS) は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

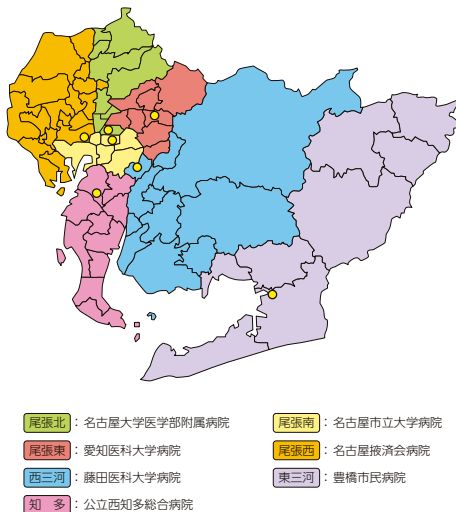
今回は、新しく発行された刊行物、愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「臨床化学検査」についてご紹介いたします。2014年3月、日本臨床検査標準協議会より「JCCLS 共用基準範囲」が発表されました。この基準範囲は日本臨床衛生検査技師会と日本医師会を含む多くの団体・学会の同意と賛同を得て発表されており、本邦において広く共有できる基準範囲と考えられます。今回、共用基準範囲の普及を目的として、2006年に発行した「愛知県臨床検査値統一化ガイドライン」を改訂しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会 HP の臨床検査標準化情報をご覧ください。
(AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会)

I. 愛知県内の標準化動向

2004年、日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) により、「臨床検査標準化検討委員会」が立ち上げられ、臨床検査の標準化を体系的に整備する活動が開始された。これを契機に、愛知県では県内を尾張北、尾張南、尾張東、尾張西、知多、西三河、東三河の7つの地区に区分し、各地区に基幹施設を設けた。基幹施設は、他県と同様に展開されている共有化事業の基幹施設とデータの整合性を確認しており、各施設が基幹施設と測定値を一致させることは国内の施設間差を是正することを意味する。基幹施設は「実試料標準物質や実用基準法」にて自施設の正確さを管理するとともに、関係する地区における各施設の臨床検査データ共有化に必要な試料と測定値を提供し、個々の施設の正確さをサポート、技術的支援を行っている。

愛知県基幹施設一覧



III. 検査値統一化実践のための基礎知識

1. 標準化の概念

臨床検査における標準化とは、測定値の正確さを基礎とし設定された基準測定値に近似させる作業である。標準化の実現には①対象物質の測定体系確立と標準物質・トレーサビリティの確保、②臨床検査手順の規格化、③臨床検査実施者の能力の確認などの要素が必要となる。これらはJCCLSと日本適合性認定協会 (JAB) が共同で国際標準化機構 (ISO) 15189に基づく臨床検査室認定制度を行っている。

2. 臨床化学検査分野における測定体系

臨床化学分野における測定体系は大きく3つに分類される (図1)。濃度測定系は、絶対基準法により値が決定された一次標準物質を起点とし、実用基準法や二次標準物質のような比較的取り扱いが容易な方法へ測定値を伝達していく。このような測定体系には絶対基準法や一次標準物質が存在する濃度測定系が該当する。

一方、酵素活性測定系は絶対基準法や一次標準物質を頂点とする測定体系はなく、学術団体のコンセンサスによって定められた勧告法を基準の頂点とし、常用参照標準物質を介して正確さを伝達する測定体系が主流となっている。

蛋白測定系は免疫学的測定法のように、測定方法についての推測の提示はあるものの、単一方法の指定はなく、WHO標準品や標準物質及び計量技術研究所 (IRMM) が国際臨床化学連合 (IFCC) の協力のもと設定した、国際標準物質 (ERM-DA470) を中軸として構成されている測定体系である。

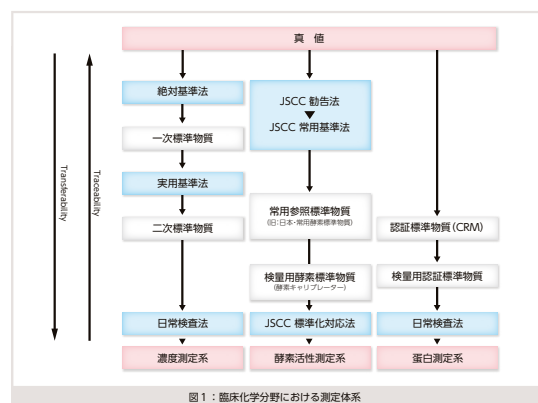


図1：臨床化学分野における測定体系

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆 (分担執筆を含む) などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP (各種手続き) に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



申請書ダウンロード